

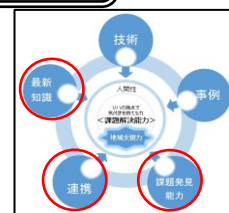
高次脳機能障害コース STEP1（定員：30名）

高次脳機能障害については、症状が外見からわかりにくく、また本人に自覚がないことも多いため「見えない障害」と言われることもあります。

そのため支援者や周囲の方にもこの障害に対する理解が必要です。

高次脳機能障害の支援において、適切な知識をもって関わることで、高次脳機能障害の方の社会適応を高めるという報告もあり、今回の研修では、「高次脳機能障害ってよくわからない。」「高次脳機能障害について理解したい。」といった支援者に対して、基礎理解を高める事を目的とします。

（当研修の「高次脳機能障害の基礎理解」は2021年度に当センターが実施した高次脳機能障害コースSTEP1とほぼ同一の内容。）



【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日	時	内 容	講 師
		『高次脳機能障害の基礎理解』	
令和4年 8月28日(日) 13:30~16:30 (受付13:00~)		「高次脳機能障害の基礎理解」	滋賀県立リハビリテーション センター 所長 川上 寿一
		「社会的行動障害の基礎理解と その対応」	滋賀県高次脳機能障害支援 センター 認定心理士 小西川 梨紗 氏

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和4年8月19日(金)まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または QR コードから受付フォームにアクセスし、必要事項の入力をお願いします。

申込受付後、後日、Web 会議（Zoom）のミーティング ID・パスワードを、メールでお知らせします。

URL：<https://forms.gle/wq5Tb5ncLFvNuF2H8>

【QR コード】



※ STEP1 は、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。
 ※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

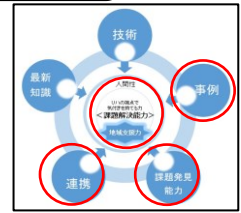
担当：澤井

高次脳機能障害コース STEP2A（定員：20名）

高次脳機能障害については、症状が外見からわかりにくく、また本人に自覚がないことも多いため「見えない障害」と言われることもあります。そのため支援者や周囲の方にもこの障害に対する理解が必要です。

注意・記憶・遂行機能・社会的行動障害は、行政的な定義において高次脳機能障害として挙げられます。このような症状を持つ方々に対し、生活場面での支援に関わる方を対象に、動画等を用いながら、それらの障害特性に対する理解を深めると共に、実際の関わり方が具体化できるように動画やアセスメントツールを用いながら理解を深めます。

（当研修は、2020年度に実施した高次脳機能障害コースSTEP2Aと同一の内容です。）



【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日	時	内 容	講 師
令和4年 10月16日（日） 9：30～12：30 （受付 9：00～）		『生活における高次脳機能障害の 捉え方や対応法 A』	滋賀県立 リハビリテーションセンター 所長 川上 寿一

●対 象 者： 医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り： 令和4年10月7日（金）まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または QR コードから受付フォームにアクセスし、必要事項の入力をお願いします。

申込受付後、後日、Web 会議（Zoom）のミーティング ID・パスワードを、メールでお知らせします。

URL：<https://forms.gle/9txD3tsChVyDYWcGA>

【QR コード】

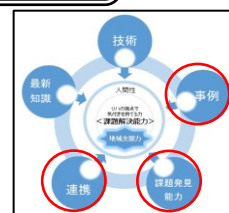


※ STEP2A は、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。
 ※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

担当：澤井

高次脳機能障害コース STEP3（定員：30名）

高次脳機能障害のある方の地域社会生活を支える際に様々な方や機関が関わることがあります。その際、支援機関の役割を知っている事は支援される方のこれからを左右する可能性があります。そこで、地域で中心となって支援している様々な方々に支援機関の役割や実際を講演いただき、今後の支援に活かしていくことを目的とします。



【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
『生活を支える社会資源 ～知る事が大きな差を生む～』		
令和 4 年 10 月 16 (日) 13 : 30 ~ 16 : 50 (受付 13 : 00 ~)	「滋賀県における高次脳機能障害の現状と滋賀県高次脳機能障害支援センターの支援」	滋賀県高次脳機能障害支援センター 相談支援員 田邊 陽子 氏
	(仮)「市立野洲病院回復期病棟での取り組み」	市立野洲病院 リハビリテーション課 作業療法士 岡本 裕一 氏
	「むれやま荘の機能と役割 ～高次脳機能障害への支援～」	滋賀県立むれやま荘 所長 柴田 有加里 氏
	「滋賀障害者職業センターにおける高次脳機能障害者への支援について」	滋賀障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 山口 久尚 氏
	(仮)「高次脳機能障害友の会しがでの支援」	高次脳機能障害友の会しが 代表 岡本 律子 氏
	(仮)「働き・暮らし応援センターにおける高次脳機能障害者の支援状況について」	湖南圏域働き・暮らし応援センター センター長 相馬 佐保 氏

●対 象 者： 医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り： 令和 4 年 10 月 7 日 (金) まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または QR コードから受付フォームにアクセスし、必要事項の入力を
 お願いします。
 申込受付後、後日、Web 会議 (Zoom) のミーティング ID・パスワードを、メールで
 お知らせします。

URL：<https://forms.gle/hJsSRqzWR72uTmMKA>

【QRコード】



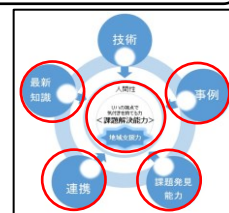
※ STEP3 は、滋賀県高次脳機能障害相談支援員研修の必須研修となっております。
 ※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定 (1 ポイント)

担当：澤井

高次脳機能障害コース医師・セラピスト研修（定員：20名）

脳損傷・脳疾患に対してのリハビリテーションプログラムの精度は、脳画像の判読を症状とあわせて評価することで上がります。この研修では、脳画像を判読し考えられる症状の推論と高次脳機能障害の方を支援する効果的な思考プロセスを学びます。

また、事例を通したワークショップで講義の学びをアウトプットし、明日から臨床に活かせることを目的とします。



【会場】 zoom ミーティングを利用した Web 研修

日 時	内 容	講 師
令和5年 2月5日(日) 13:00~17:00 (受付 12:30 ~)	『脳機能障害（高次脳機能障害・発達障害など）に対する リハビリテーション・学習・就労等に向けたプロセス』	
	(仮) 「画像診断と 高次脳機能障害（超基礎編）」	京都大学大学院医学研究科 精神医学教室 教授 村井 俊哉 氏
	(仮) 「高次脳機能障害と効果的な 学習について ～リハビリテーション 立案・実施と推論～」	藍野大学医療保健学部 作業療法学科 学科長 教授 酒井 浩 氏
	ワークショップ 「事例から脳画像の判読、診断、評価、リハビリテーション プログラムの立案と高次脳機能障害の現象について」	

●対象者：医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士、介護士、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー、相談支援事業所職員、就労支援機関職員 等

●申込締切り：令和5年1月27日(金)まで 【先着順】

★申込方法：下記 URL または QR コードから受付フォームにアクセスし、必要事項の入力をお願いします。

申込受付後、後日、Web 会議（Zoom）のミーティング ID・パスワードを、メールでお知らせします。

URL：<https://forms.gle/2o3YuZ4LQZjFz1aX8>

【QR コード】



※ 日本医師会生涯教育制度2単位申請予定
※ 日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定（1ポイント）

担当：澤井